



TOHOKU
UNIVERSITY

文部科学省研究公正推進事業 研究公正シンポジウム
2020年12月15日(火)有楽町よみうりホール

研究公正において指導的役割を果たす人材—その役割, 資質, 育成—

話題提供

東北大学の取り組みについて

佐々木孝彦

東北大学金属材料研究所教授 副所長
総長特別補佐(研究倫理担当)

金属材料研究所低温電子物性学研究部門教授
(協力講座: 理学研究科物理学専攻)
区分B-物性物理学—磁性, 超伝導, 強相関

○物性物理学
「分子性有機物質の
強相関電子状態」

東北大学

極低温科学センター長 2012年4月～現在

金属材料研究所 副所長 2014年4月～現在

公正な研究活動推進

総長特別補佐(研究倫理) 2018年4月～現在

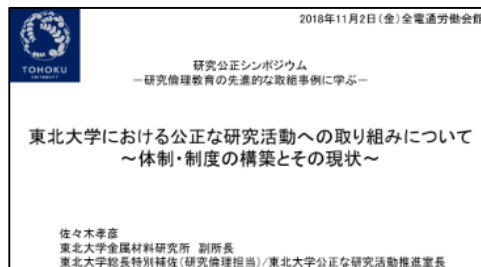


2012年4月 東北大学安全保障輸出管理委員会委員長(全学管理責任者)

2015年4月- 東北大学安全保障輸出管理委員会アドバイザー

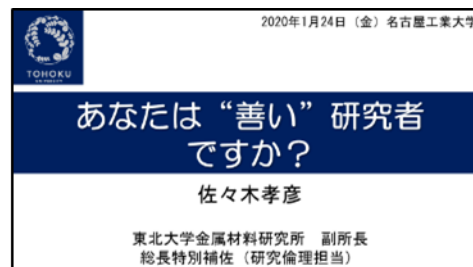
2014年4月- 経済産業省安全保障貿易管理調査員

2017年4月- 経済産業省安全保障貿易自主管理促進事業アドバイザー



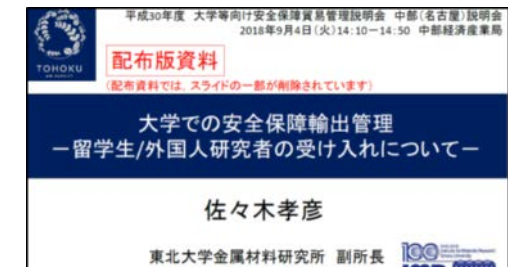
JSTシンポジウム

ハセセンター 主任URA



名古屋工業大学

- 最近の研究倫理を取り巻く状況
- 研究不正の背景
- 研究不正はなくすることができるか
- より善い研究者として



経済産業省

□「研究公正」の「何」に対して「指導的」？

(「研究インテグリティ」...)

具体的に行うこと

- **研究不正(論文不正)**
- 研究費不正使用
- 利益相反
- 安全保障
- 生命・医療倫理
- 信義則違反
- 営業秘密漏洩
-
- アカデミックハラスメント
- ソーシャルハラスメント
- セクハラ, パワハラ, . . .

- 不正告発対応
- 教育実施
- プログラム企画
- 事務管理
- 相談対応
- . . .

専門家(研究者)がいるか...?
一人でできるか?

羽田 貴史
東北大学名誉教授

科研費分類:教育学



縦割りの組織・所掌分担(東北大学)

- **研究不正(論文不正)**
- 研究費不正使用
- 利益相反
- **安全保障**
- 生命・医療倫理
- 信義則違反
- 営業秘密漏洩
-
- アカデミックハラスメント
- ソーシャルハラスメント
- セクハラ, パワハラ, . . .

○研究担当理事・副学長
研究推進部

研究コンプライアンス推進室

- 公正な研究活動
- 研究費の適正使用
- 人を対象とする医学系研究
- 動物実験
- 遺伝子組み換え実験
- 生物多様性(ABS対応)

○産学連携担当理事・副学長
産学連携機構

- 秘密保持契約
- MTA

○総務担当理事・副学長
総務企画部

法務・コンプライアンス課

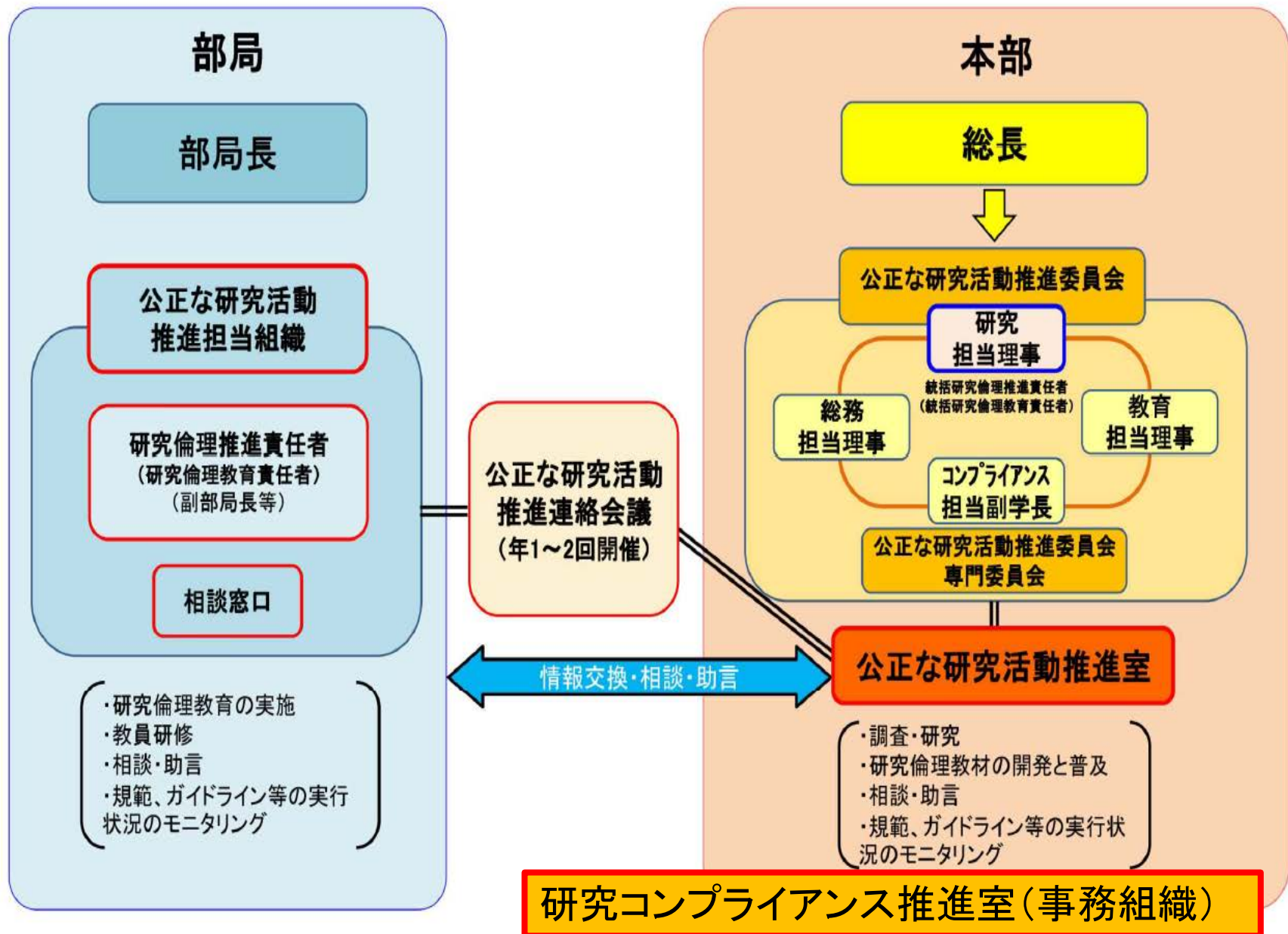
- ハラスメント相談窓口
(コンプライアンス係)

• **安全保障輸出管理室**

• 利益相反マネジメント事務局

「研究インテグリティ」...対応

東北大学の公正な研究活動推進組織



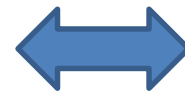
6/15

	公正な研究活動の原則
	推進体制
	研究不正行為の定義
	研究データの保管
	共同研究の役割分担
	オーサiershipの原則
	研究成果発表の原則
	研究倫理の相談先
	研究倫理教育
	ABSへの対応
	人を対象とする医学系研究
	リンク（学外・学内）

人材の課題

公正な研究活動の推進について
(指導的)人材の育成

非専門家・素人が



どこで経験を積むのか

部局の声

- ✓ セミナー・FDを行いたい
が講師がいない
- ✓ 相談を受けたときにど
のように対応してよいか
わからない

誰が担う？

- セミナー・ワークショップ
- e-learning
- グリーンブック
- . . .

教員・学生個々の
活動に対する学習
機会・啓発

レベル6 研究公正アドバイザー(教授の10%程度)

レベル5 研究指導担当教員(教授・准教授, 研究室主宰者, PI)

レベル4 新任教員(助教)・PD

レベル3 大学院博士課程

レベル2 学部生(研究室配属)・大学院修士課程

レベル1 学部生(1~3年生)

FD
全学

研修会
講演会

全学
部局

e-learning

研究室教育

教材
日常活動

CITI Japan (APRIN)
THE LAB(JST)
eLCoRE(JSPS)

カリキュラム
教材 授業・実習

(レベル1-4)

- 教材開発・カリキュラム実施の課題は残るが, 本質的な困難さは無い.
- 教育内容を受け入れてくれる. 教育での変化・教育効果が期待できる.

役割

対象

課題

レベル 6

他の研究者に対し助言を与え、責任ある研究活動を先導的に推進

○アドバイザー教員
部局に最低1, 大規模組織では教授の10%程度

専門分野における倫理を理解し、様々な事例を把握し、他者に助言を与えることができる

レベル 5

研究指導及び共同研究で責任ある研究の実施を指導

○研究指導の教員・担当教員
研究指導するすべて

- ① 学生指導において責任ある研究と学習が行えるよう指導することができる
- ② 共同研究において責任ある研究が実施できるよう役割を果たすことができる
- ③ 分野の研究倫理に関する最新の知識を有すること

レベル 4

研究指導及び共同研究で責任ある研究の実施を指導

○ポストドク・新任教員
採用されたすべての教員が1年以内に

- ① 研究する分野の倫理の全体構造を理解し、自分の研究を通じて実践する
- ② 研究活動において発生するさまざまな研究倫理の課題を自立的に解決する

レベル 3

指導のもとでの自立的に責任ある研究の実践

○大学院後期課程学生
第2年次までに

- ① 研究する分野の基本的倫理を理解する
- ② 責任ある研究と研究不正の定義について理解し、実践できる
- ③ 研究活動において発生するさまざまな研究倫理の課題に気が付き、助言の下で解決に努力する

レベル 2

指導のもとで責任ある研究の実践

○学士課程後期・大学院前期課程学生
博士課程後期学生は第2年次までに

- ① 社会における価値を実現するための学問研究の課題と両義性を理解する
- ② 自分の専攻分野の課題と社会における価値を理解する
- ③ 研究する分野の基本的倫理を理解し、指導のもとで自分の研究を通じて実践する

レベル 1

指導のもとで責任ある研究の実践

○学士課程前期学生
入学第1年次中に

- ① 大学及び学問の果たす価値・社会的役割と、誤った研究のもたらす弊害を理解する
- ② 他者の意見と自分の意見の区別など、大学での学習の基本的作法を理解し、実践する
- ③ 捏造・偽造・剽窃・カンニングなど研究と学習に関する不正行為の問題を理解し、誠実な学習を実践する

キャリアステージ別学習:レベル5

制度説明・グリーンブック・e-learning・不正事案紹介/分析, . . .

毎年の「これをして, あれはダメ, これはいけない」を超えて

2018年5月11日(月) 片平さくらホール

多元物質科学研究所研究倫理講習会

**あなたが相談を受けるとき
どうしますか?**
—研究公正アドバイザーハンドブックの活用—

佐々木孝彦

東北大学金属材料研究所
研究倫理担当(研究倫理担当)

研究倫理シリーズ 第5回 2017年7月31日(月) 東北大学川内北キャンパス

**責任ある研究活動の担い手を育てる
—院生の研究指導と研究倫理—**

事例報告2
**理系研究室における研究指導・
研究室運営について**

金属材料研究所 佐々木孝彦

100 Years of Tohoku University
IMR Institute for Materials Research
東北大学金属材料研究所

2019年12月25日(水) 東北大学大学院薬学研究科

2019年薬学研究科研究倫理FD

**あなたは“善い”研究者
ですか?**

佐々木孝彦

東北大学金属材料研究所 副所長
総長特別補佐(研究倫理担当)

- 最近の研究倫理を取り巻く状況
- 研究不正の背景
- 研究不正はなくすることができるか
- より善い研究者として

印刷資料配布版には、一部のページが含まれていません。

博士課程大学院生指導における国際標準について

研究倫理教育
レベル別学習セミナー

Robert G. Geier
(Robert Geier)
東京大学名誉教授

日時
2018年8月8日(水)
13:30~15:00

場所
川内北キャンパス
B棟 B200

広い視点で手を変え品を変え…

金属材料研究所
公正な研究活動推進セミナー

**研究不正はなくなる
メディアからの**

日時
2018.8.3(金)
13:30-15:00

場所
金属材料研究所 2号館 1階講堂

手を変え品を変え…

**画像不正
と疑われないための
画像処理**

教員・研究員
院生向け
院内セミナー

開催日時 2018年9月4日(火) 15:00~16:00

開催場所 金属材料研究所 2号館 1階講堂

セミナー内容(100分)

- 画像の不正とは何か
- 画像の不正の検出方法
- 画像の不正の防止方法
- 画像の不正の対応方法

**ハラスメント
に関するセミナー**

日時
2017年7月26日(木)
13:30~15:00

場所
金属材料研究所 2号館 1階講堂

タイトル
ハラスメントの法

講師 本多 広彦 弁護士

ハラスメントに関する
法令の解説と裁判例の紹介をいたします。いじめ
るハラスメントとセクシュ
アルハラスメントの区別を
取り扱います。セクシュ
アルハラスメントにたい
しては、性別によるもの、
性的指向によるもの、及び
性的指向によるハラスメ
ントについて解説しま
す。性差別・性的指向に
ついての最新の動向も
丁寧にお話しします。

→ 受講が個人の学習・啓発にはなるが…

レベル6 研究公正アドバイザー(教授の10%程度)

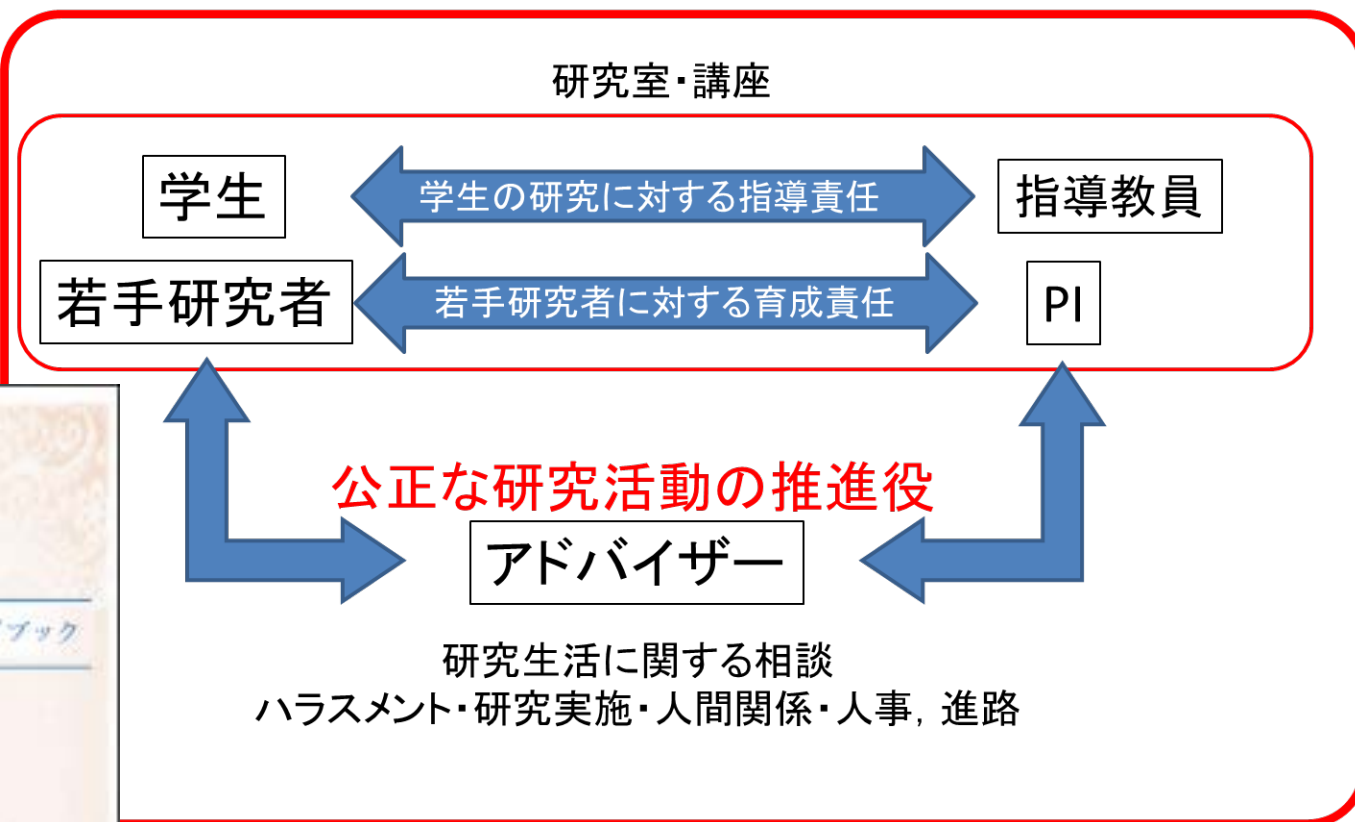
各部署の活動を主導 部署長に助言・補佐 部署

レベル5 研

レベル4 新

レベル3 大

FD
全学



相談を受けたときの対応(心構え)



役割1: 主導する



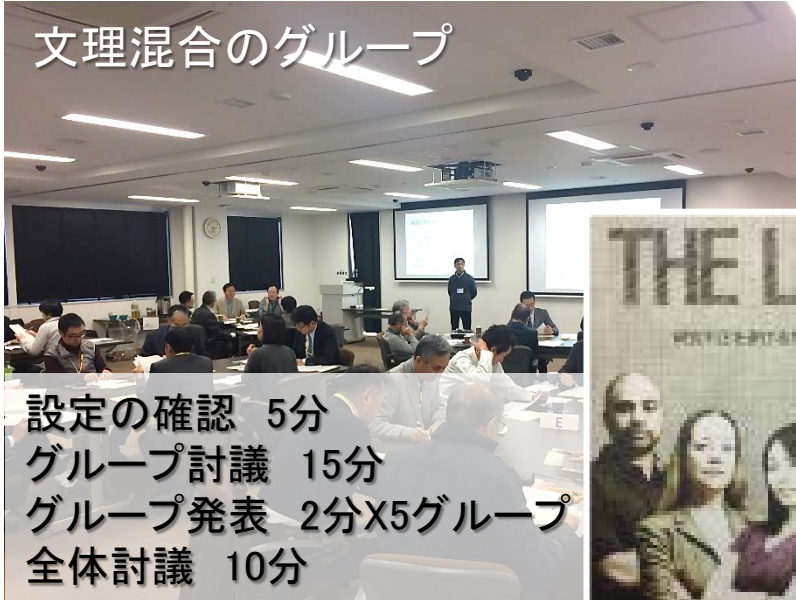
役割2: 教育する



役割3・4: 相談を受ける



文理混合のグループ



設定の確認 5分
グループ討議 15分
グループ発表 2分X5グループ
全体討議 10分



<https://lab.jst.go.jp/index.html>

年2回(片平・川内・青葉山・星陵キャンパスを巡回)

各局の研究公正アドバイザー対象
(定期的(3年に1度以上)に受講)

各回15-30名程度

プログラム

○ガイダンス

・研究公正アドバイザーの役割
(部局活動の推進)

・事例紹介

・本学の取り組みと最近の動向

○「THE LAB」を用いたグループワーク

○設定事例への対応方法グループワーク

事例:研究室運営について (研究公正上の懸念は何か)

- ・若手PIの研究室 ・研究成果多数, 学生の人気も高い・効率的な研究実施, 論文執筆
- ・丁寧な研究指導: 定期的な進捗報告, 論文投稿形式でのデータ取りまとめ・報告
- ・実験のプロトコル・データ形式の明確なルール化

事例:学生からの相談(設定) (助言と行動)

- ・博士課程大学院生からの相談: 研究テーマ・アイデアを指導教員が盗用?
- ・指導教員の指導で独自に研究を実施 ・指導教員は同テーマで科研費取得
- ・科研費取得は, 院生が研究を始める以前 ・報告書には院生のデータあり
- ・投稿論文の指導は無し ・海外学会に自費で参加

2020年第1回研究公正アドバイザーワークショップ(9/29)アンケート

2. 今回の受講内容のなかで、特に役に立ちそうと思ったこと

星陵キャンパス(医学系)

研究不正責任者の対応の仕方。

The Labは勉強になる教材で、役に立ちそうだと思う。良いワークショップだったと思う。

問題が起きた時の対処。

立場の違いを認識できた。問題が起こる前に良い環境を整える重要性。

アドバイザーとして期待されている役割。(2件)

教材が良かった。(2件)

The Labによる体験の共有、疑似体験・当然ととらえていた事、行っていた事を改めて考えてみる。異なる立場で起こるという重要性を感じました。

ハゲタカジャーナルとも適正な雑誌とも区別が難しいものがある事に注意すべきだと思ったこと。

大学院生の視点。

隠ぺいの可能性などは考えなかったもので、様々な成り行きを想像する必要があるという視点は役立つと思います。

立場による認識の違い。

このような
学内WS・FD
としては好評

3. 今回の受講内容のなかで、わかりにくいと思ったこと

会議室の場所。

研究不正に対しての大学院生がとるべき対応。

分かりにくいわけではないですか、研究不正の申立者の保護は非常に難しいと考えた。

実際に研究公正アドバイザーとして、ワークするには相応の経験を積む必要を非常に考えさせられた。

東北大学のしくみ・アドバイザーの役割。

前向きな
わかりにくさ

「公正な研究活動の推進に係る調査及び施策の検証並びに研究倫理教育及び研修に係る教材の開発及び普及等を行う」

実際には、研究コンプライアンス推進室(事務)と共同して

- セミナー・ワークショップの企画・実施
- 教材・資料の作成

セミナー・FD講師リスト (各部署FDなどでの学内講師経験者のリスト)

- 種々の調査・報告対応

室員:

TS(室長 金属材料研究所:物性物理学)

H(副室長 教育情報基盤センター:数理物理)

I(文学:社会学), Y(教養教育:心理学)

N(理学:物理), U(URA)

K(歯学), N(薬学), H(工学:建築)

講演者(TS)も含めて,

(ほぼ)非専門家集団

(赤字の先生は、専門性あり)

- ✓ ポイント・室員の学内リクルート
・入れ替わり

全学業務を共に行うことで、問題意識を共有する人材が増えていく

➡ もっとも実効的な人材育成(TS私見)

「研究公正において指導的役割を果たす人材」の供給源は

(東北大学の場合)

教員 約3000人

(うち教授約880人)

○各部局の「研究公正アドバイザー」 (約100人)

ポイント:

- 少人数グループワーク
- リアリティのある事例(意見や対応が割れる事例)
- 多分野理解

○本部「公正な研究活動推進室」のメンバー (約10人)

ポイント:

- 学内リクルート
- 入れ替え(部局との循環)
- 業務を実施しながら
- 「研究コンプライアンス推進室(事務)」との協働
- 学内他部署との連携

問い合わせ先

東北大学金属材料研究所 佐々木孝彦 takahiko@imr.tohoku.ac.jp

東北大学研究推進部研究コンプライアンス推進室

URL <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/fb/index.html>

E-mail: kencom@grp.tohoku.ac.jp

東北大学 公正な研究

検索

